

# 年 頭 所 感



一般財団法人 省エネルギーセンター  
会 長 南 直 哉

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。  
現下の我が国経済の状況をみますと、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっており、先行きについても欧州や中国等対外経済環境を含め不確実な状況が続いています。今年は「巳年」ということもあり、このような中でも好機に向け、辛抱強く対応していくことが何よりも大切であると考えます。

一方、東日本大震災以降の重要な課題となっている省エネ・節電につきましては、この冬北海道の電力事情等に不安はあるものの、空調温度や照明の節減、クール(ウォーム)ビズの徹底をはじめ国民の皆様の多大なご努力により緊急の対応として大きな成果を上げてきています。

しかし、原子力発電等エネルギー供給サイドにおける不透明な状況はこれからも長く続くことが予想され、このような中で今後とも我が国経済社会の安定的な発展を実現していくためには、省エネ推進に一層の工夫が不可欠となっています。

具体的には、第一に大震災後の対応の中で進んだ「省エネ」更には電力の「負荷平準化」をベースに、新たな省エネ・節電対応の推進を恒常化する必要があり、このためには、国民全体の参加による「草の根的」な省エネ・節電活動を強化、定着することが重要です。

すなわち産業分野においては経営者のリーダーシップのもと企業全体さらには他企業と連携し、ビル分野においてはオーナー・テナント等が協力し、家庭分野においては個々の家庭のみならず自治体、学校等地域が一体となって、それぞれの役割と連携を念頭に省エネ・節電活動を息長く、確実に実施していくことが肝要です。

第二は、このような省エネ・節電活動の中核となる専門技術や実践力を備えた省エネ人材の育成です。産業、業務分野においては、省エネ・節電の技術・サービスの開発のみならず現場において的確な導入・管理、提案・指導ができる人材、家庭・地域分野においては、家電機器や住宅等に係る省エネ技術や省エネ行動について幅広い知識を持ち地域の省エネ普及のリーダーとして活躍できる人材の充実が求められています。

第三は、新たな省エネ関連技術・サービスの積極的活用です。特に最近「狭義」の省エネ技術だけでなく「新エネ」「蓄電」「スマート・テクノロジー」等との融合が進展しており、より総合的な視点が必要となっています。具体的には BEMS、蓄電、インバーター、ヒートポンプ、コージェネ及び省エネ・チューニング等最新の個別技術に加えて、BEMS アグリゲータ、ESCO 等の省エネ関連専門サービスの積極的な活用が考えられます。さらに昨年新エネを対象とする電力の固定価格買い取り制度が導入されたことから、これと組み合わせた省エネ・節電手法も有望です。

第四は省エネ国際協力です。近時中国等発展途上国をはじめとして経済に減速感はあるものの、今後の長期的なエネルギー需要の増大、引き続き深刻な課題である温室効果ガス削減等への対応のためには、省エネをグローバルに進めることが不可欠です。特に世界最高水準の省エネ技術を持つ我が国に対する国際的期待は高く、また当該分野におけるビジネスが極めて有望であることから、省エネ協力を積極的に実施していく必要があります。

以上のようなニーズを踏まえ、当センターといたしましては、まず国民の皆様の「草の根」的な省エネ・節電活動を総合的に支援するため、産業・業務・家庭等各分野における注目すべき省エネ・節電活動や新エネ、スマート・テクノロジーを含む新しい省エネ技術・製品の紹介等効果的な情報発信とともに、企業や家庭・地域への具体的な省エネ・アドバイスの実施等多角的に事業を展開いたします。

また、省エネ人材の育成・活躍の場拡大の観点から、企業等の省エネ管理に携わる人材、工場・ビル或いは家庭を対象とする省エネ診断の専門家の育成を強化してまいります。

さらに省エネ国際協力については、研修生受け入れや専門家派遣等これまでの経験を活かし、途上国を中心にそれぞれの省エネ進展状況に対応したより効果的な協力や我が国省エネ・新エネ技術の移転を念頭においたプロジェクトの形成支援等を積極的に進めます。その際特に2008年に官民連携のもと途上国へのビジネス支援を目的に設立された「世界省エネルギー等ビジネス推進協議会」の活動と引き続き緊密な連携を図ってまいります。

当センターは、昨年4月1日に一般財団法人へと移行し、新たなスタートを切りました。今後も過去30年以上にわたる活動において蓄積した省エネのノウハウ、技術等を最大限に活かしつつ、以上のように新たな視点から皆様の省エネ推進に貢献できるよう全力で取り組む所存でございます。皆様におかれては引き続きご理解、ご指導をいただきたくお願い申し上げます。最後に、この1年が皆様にとりまして本当に良い年になりますよう心から祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。